

## 横浜市におけるツヤハダゴマダラカミキリの発見と根絶について

高橋 直・伊藤正明

横浜植物防疫所

Detection and Eradication of the Asian Longhorned Beetle in Yokohama, Japan. Naoshi TAKAHASHI and Masaaki ITO (Yokohama Plant Protection Station, 5-57, Kitanakadori, Naka-ku, Yokohama 231-0003, Japan). *Res. Bull. Pl. Prot. Japan* **41**: 83–85 (2005).

**Abstract:** An exotic pest, the Asian longhorned beetle (*Anoplophora glabripennis* (Motschulsky)), was first found on Chinese elm (*Ulmus parvifolia* Jacq.) street trees in Yokohama city in July 2002. The Yokohama Plant Protection Station investigated all street trees existing around the circumference of the detection points. The range of occurrence was found to be very limited, as a result of the investigation. But the cause of this occurrence remains unknown. Lightly damaged trees received chemical treatments in September 2002. In addition, the heavily damaged trees were cut down. Although the Yokohama Plant Protection Station has investigated the beetle since March 2003, it has been not captured or seen, up to the present time. Therefore, the beetle is considered to have been exterminated.

**Key words:** Asian longhorned beetle, *Anoplophora glabripennis*, Chinese elm, detection, eradication, Yokohama, Japan

### はじめに

2002年7月9日、横浜植物防疫所職員により、横浜市中区馬車道通の街路樹として栽植されているアキニレ (*Ulmus parvifolia* Jacq.) 樹数本からゴマダラカミキリによく似たカミキリムシ成虫数頭が発見された。独立行政法人森林総合研究所榎原寛博士に同定を依頼したところ、本カミキリムシは本邦未発生のツヤハダゴマダラカミキリ (*Anoplophora glabripennis* (Motschulsky)) と判明した。(図1)

本種は中国、朝鮮半島が原産で、特に中国北部地方では、新たに栽植されたポプラ等に甚大な被害をもたらしており(磯野ら、1999)、また、近年、本種はアメリカ合衆国の東北部にも侵入し、カエデ類を加害枯死させて問題となっている(CAVEY et al. 1998)。我が国では、これまで文献上古い記録があったが、現在ではこれらの記録は誤り又は偶発的な記録と考えられている(榎原、2000)。従って、今回の発生は新たな侵入事例と判断された。

横浜植物防疫所では、諸外国での甚大な被害状況を鑑み、緊急に発生調査を行い、撲滅を目指した防除を実施することとした。この度、その発生状況と防除状況を取りまとめたので、報告する。

本報告にあたり、本種を同定していただいた榎原寛博

士、調査、防除にあたって多大なご協力をいただいた横浜市緑政局の方々に厚くお礼申し上げます。

### 1. 発生調査

上記の発見を受け、横浜植物防疫所は7月9日～11日、馬車道のアキニレを中心とし、横浜市中区、及び隣接地域の西区において発生調査を実施した。

また、本種は多種多様な樹木を加害することが知られていることから、アキニレだけではなく、他の種類の街路樹についても調査を実施した。

調査は街路樹上の成虫、成虫の脱出口、産卵痕の有無について肉眼による確認を行った。

この結果、馬車道のアキニレ55本中14本から成虫、成虫の脱出口、産卵痕を確認し、合計41頭の成虫(15♂♂、26♀♀)を捕獲した。しかし最初に発見された地点周辺以外のアキニレでは全く発見されず、隣接して栽植されているプラタナス、トウカエデからも本種は発見されなかった。(図2)

また、7月16日及び19日、山下公園、横浜中華街周辺の街路樹についても同様に調査を実施し、さらに7月以降、植物防疫所が定期的に行っている全国の主要な海・空港地域内の病害虫発生調査でも本種の発見はなかった。

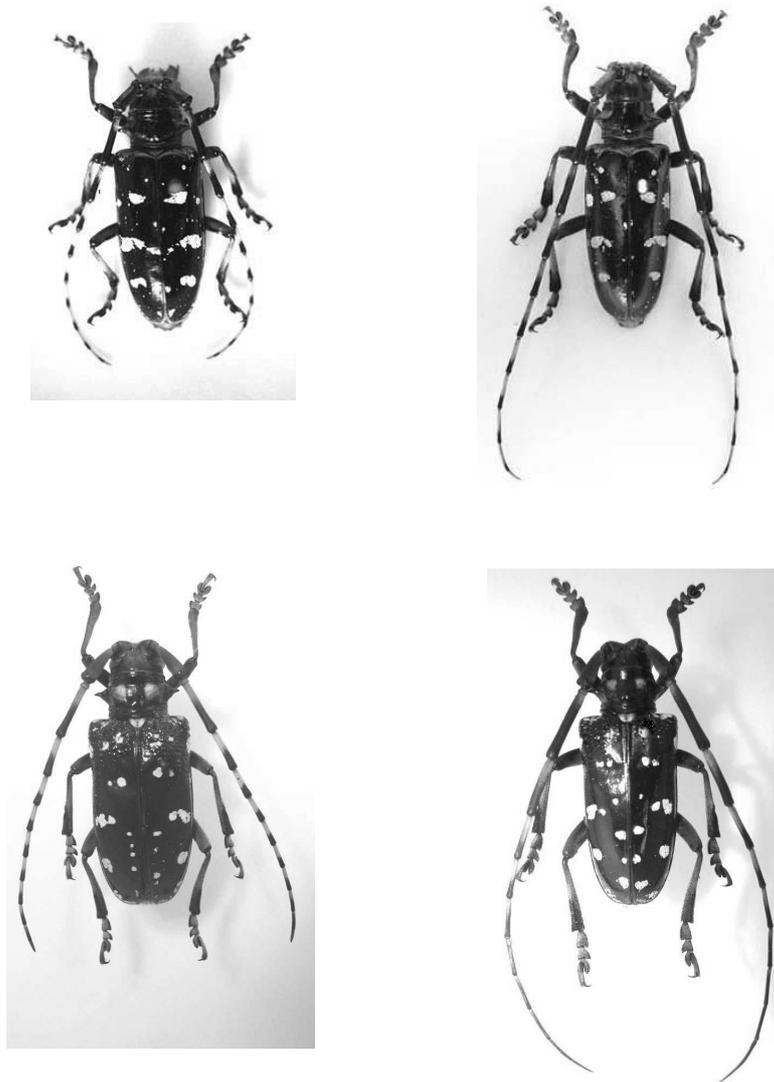


図1 横浜市馬車道で発見されたツヤハダゴマダラカミキリ及び東京都産ゴマダラカミキリ（比較）

- (上左) ツヤハダゴマダラカミキリ♀（横浜市産）
- (上右) ツヤハダゴマダラカミキリ♂（横浜市産）
- (下左) ゴマダラカミキリ♀（東京都産）
- (下右) ゴマダラカミキリ♂（東京都産）

## 2. 防除

調査の結果、発生は横浜市中区馬車道のごく限られた範囲であることが判明したため、早期に防除することにより本種の根絶が可能であると考えられた。防除方法としては被害樹に薬剤処理、被害が著しい樹の伐採が適当と判断し、街路樹管理者である横浜市緑政局と防除の実施について協議を行った。その結果、横浜市側の協力により、まず、2002年9月、被害樹について、主に本種幼虫等の食害痕に薬剤（DDVP乳剤10倍液）を注入した。また被害の著しい樹の伐採については、成虫発生期に実施することはかえって他地域への分散・まん延の危険性

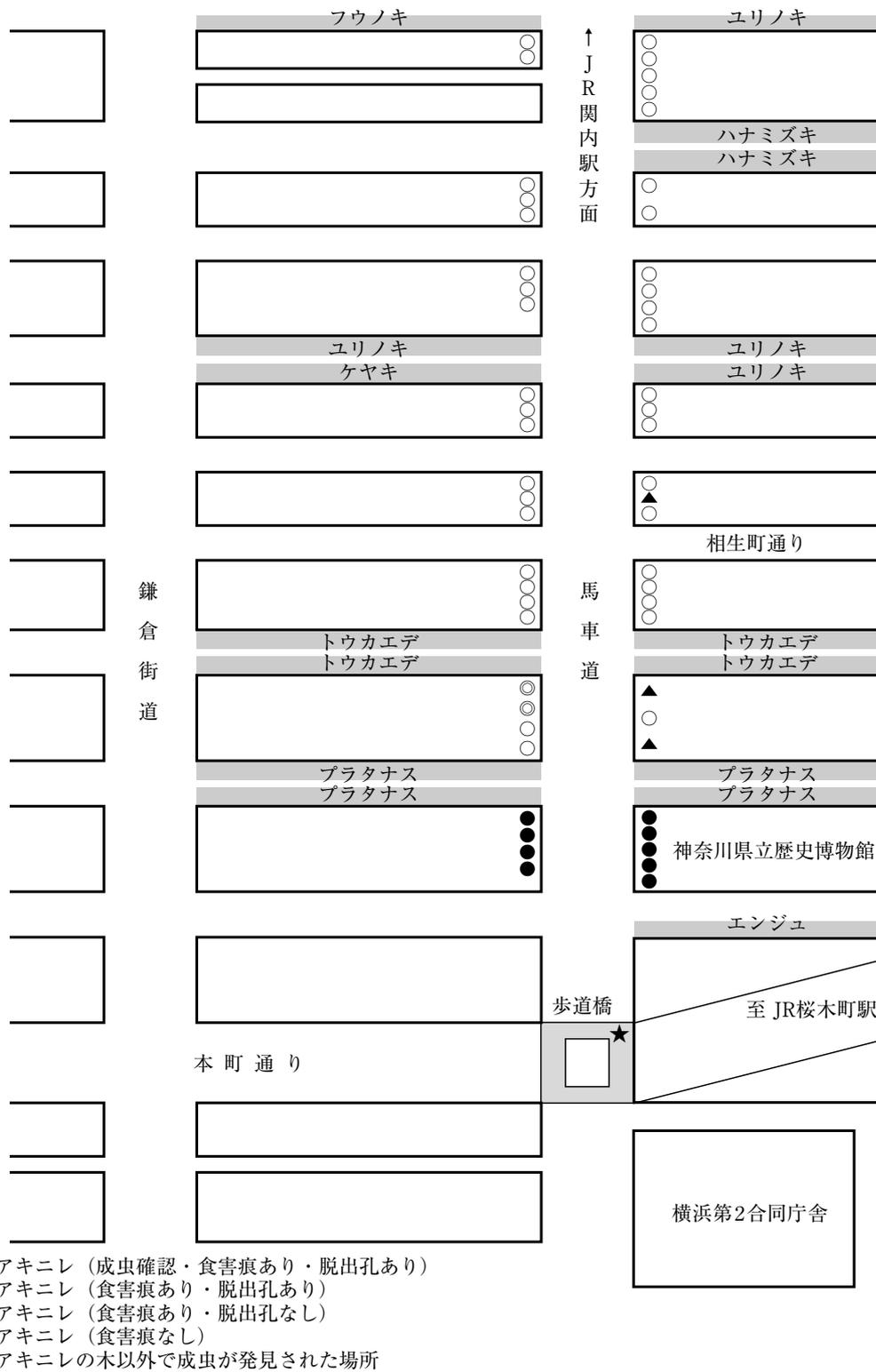
が高くなることから冬季に実施することが適当と判断し、2003年2月に実施し、伐採後の材は焼却処分とした。

## 3. 根絶

2003年3月から2004年11月まで毎月2回（冬期間を除く）、目視で街路樹上の成虫、成虫、成虫の脱出口、産卵痕の有無の確認により発生動向調査を行っているが、これまで本種の発生は全く確認されていない。よって、今回の発生は終息したものとする。

本種の発生原因は現在のところ特定されていないが、発生国からの木材梱包材による可能性が考えられる。

図2 ツヤハダゴマダラカミキリ及び本虫による被害が確認された場所



引用文献

CAVEY, J.F., E.R.HOEBEKE, S.PASSOA and S.W.LINGAFELTER (1998) A New exotic threat to North American hardwood forests: an Asian longhorned beetle, *Anoplophora glabripennis* (MOTSCHULSKY) (coleoptera:cerambycidae) .I.larval description and diagnosis.

Proc.Entomol.Soc.Wash.100 (2) :373-381  
 磯野昌弘・趙曉明・宝山・孫普・郎杏茹・李徳家・劉益寧・趙軍 (1999) 中国・西北部地方におけるポプラの主要害虫、ツヤハダゴマダラカミキリの被害と生態。森林防疫48 (6) :107-116.  
 横原 寛 (2000) 東アジア産主要ゴマダラカミキリ類の分類と分布。森林防疫49 (10) :180-194.